

13. 障害者自立支援施設と高齢者ボランティアグループの協働事業

グループ名 オアシス作業所を支える会（ゆい）
代 表 者 吉 野 房 子

① 活動の目的

障害者自立支援施設（福祉作業所）に、社会で長く活躍してきた高齢者の経験と知識、労力を活用して、障害を持っている者と高齢者でボランティア活動の場を求めている人と協働して、明るく希望の持てる充実した楽しい日々を過ごす活動を行うことを目的として、農産物の生産、加工、販売などを行います。

② 活動概要

障害者と高齢者ボランティアで協働して、野菜などの種蒔、育苗、肥料の散布、病虫害の予防、収穫、洗浄、選別、加工、販売などの一連の作業を行い。野菜などの農作物の生産による、労働の大変さと楽しさ、自然を相手にする難しさを体験しながら充実したそれぞれの日々が繰り返されるような活動を推進しました。

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出	1. 野菜等の種及び苗 ピーマン、シシトウ、甘藷、オクラ、玉葱 馬鈴薯、トマト、シソ、ノラホー菜、小松菜 ネギ、チンゲン菜、ハウレン草、	122,939円
	2. 肥料等 化成肥料、石灰、鶏糞、牛糞、堆肥、培養土 油粕、	52,705円
	3. 燃 料（ガソリン・軽油） トラクター、耕運機、草刈り機、軽トラック	88,183円
	4. 農機具部品他消耗品 マルチ、布粘着テープ、袋、光分解テープ パックシリングテープ、ホースガイドローラ ステーブル、接手ソケット、パイプ、三角袋 ポリ袋、水中ポンプ部品、噴霧器部品、 きゅうりネット、給水栓ソケット、セメント フードパック、干芋スライサー、紐、ゴム	151,921円

5. 修 繕 トラクター、耕運機、軽トラックの修繕	83,000円
6. 雑 費 マルチ等の農業用品廃棄物の処理費	1,500円
合 計	500,248円

④ 助成金に関する成果

私たちの活動場所は、過去 50 数年にわたり、首都 40 キロ圏内の東京のベットタウンとして、また大手企業を中心とする工業団地が多く開発され、都心や地方から移り住んだ隣人関係の希薄な新たな住民の割合が多くを占めています。こうした人たちの中で、団塊の世代は定年をむかえ、かつ再雇用、再就職の期間も終了し、高齢者でも引き続き活動できる場を必要としてきました。そうしたニーズに応えるべき、高齢者の居場所づくりとして、障害者も高齢者も互いに協働して楽しめる農作物の栽培活動を目指してきました。

私たちが協働するこの地は、首都圏でありながらキツネ、タヌキ、イタチなどやウグイス、オオタカ、メジロ、カワラヒワ、カモ、サギなど、たくさんの野鳥をはじめとする野生動物が生息している自然豊かな環境にあります。

しかし、最近はハクビシンやアライグマなど外来生物が住み着き、自然の生態系を壊したり、農作物に被害を与えたりしています。これらの動物の被害にあっても根気よく活動続けるためには、野菜などの種苗、肥料などの購入費をたくさん確保する必要性が生じておりました。こうした意味において今回の大同生命厚生事業団助成金は、大いに助かり目標としていた作物の収穫ができ、社会の一線を退いた高齢者の居場所や障害者との協働が大きな成果を上げさせていただいたものと感じております。ありがとうございました。

⑤ 今後の取り組み

私たちの活動エリアには、天覧山登山口児童公園に手塚治虫氏が建てた世界でただ一つの「鉄腕アトム」の実物大の銅像と氏のメッセージ版があります。少し離れたナショナルトラスト地の加治丘陵に「ムーミン谷」を模した公園が整備され、たくさん子どもたちや高齢者のハイカーが都内から訪れています。また東京都荒川区に端を発した全長 36 キロメートルの荒川左岸自転車専用道が私たちの畑の前で終点折り返しになっています。さらに対岸にはウォーキング専用道が奥武蔵高原ハイキングコースの入り口まで続いています。

このような環境を利用して、この地を訪れる人たちに楽しんでもらうため、四季折々に咲く草花の観賞や農作物を味わってもらう場の提供を高齢者や障害者のみなさんと協働して働いていきたいと願っています。写真はひまわり畑の準備作業とナス、モロヘイヤの手入れ、また、収穫物を手作りの石窯で調理して近所の皆さんに賞味していただいているものです。なお、障害者の作業スナップ写真等は遠慮させていただきました。

助成金をいただきありがとうございました。大いに役立ち喜びの結果となりました。



